

災害に備えた地域での支え合い研修会 2025

～障がいのある方などの避難支援を考えよう～

平成 28 年度より開始した「誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業（札幌市委託事業）」を知ってもらい、災害時における障がいのある方の避難支援に関する理解を深めていただくための研修会です。

国内では、北海道胆振東部地震や能登半島地震のほか、台風や大雨による洪水など毎年のように各地で多くの災害が発生しています。お住まいの地域でも日々の備えや災害対策の重要性を強く感じていらっしゃる方も多いと思います。

この研修会を通じて、発災前に何ができるのかを考え、みんなで地域を守るための一助となることを願って開催いたします。みなさま奮ってご参加ください。



1 開催日 令和 7 年（2025 年）9 月 29 日（月）
13 時 00 分から 15 時 30 分

2 開催場所 かでる 2.7 かでるホール（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

3 定員 500 名

4 内容（案） *時間・内容については変更の可能性があります

12 : 30 開場

13 : 00～13 : 10 開会・挨拶

13 : 10～13 : 40 話題提供「災害が起きる前に平時からできること～仕組み・心構え～」

講師 一般社団法人 Wellbe Design 理事長 篠原辰二 氏

13 : 40～13 : 55 行政説明

●「札幌市における避難支援の取組みについて」（保健福祉局）

13 : 55～14 : 10 休憩

14 : 10～15 : 10 実践報告「当事者目線で平時から取組む防災と地域づくり」

●障がい当事者や関係者による報告

進行：一般社団法人 Wellbe Design 理事長 篠原 辰二 氏

① 避難支援の必要性 ～ 相談支援事業所の取組や関わり

② 避難支援の取組み ～ 町内会として平時から出来ること

③ 避難支援のサポート ～ 事業コーディネーターの視点

15 : 10～15 : 30 まとめ、アンケート記入

15 : 30 閉会

5 主催 ●さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール（運営：社会福祉法人あむ）
札幌市委託事業「誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネート事業」実施事業者
●札幌市

6 対象者

要配慮者避難支援や地域防災・見守り活動に取り組んでいる又は取り組む予定の町内会・自治会、地区社会福祉協議会（福祉のまち推進センター）等の関係者、民生委員・児童委員、福祉事業者、福祉関係団体、避難支援に興味のある市民等

7 その他

（１）申込方法・締切日

- ＊ 別紙「参加申込書」にて、さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オールまでファクシミリまたは電子メールにてお申し込みください。
- ＊ 締切日は**令和 7 年（2025 年）8 月 29 日（金）**です。

（２）参加費 無料

（３）問い合わせ先

- ・ さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール〈担当：高村^{たかむら}・林^{はやし}〉
電話：011-213-0171 ファクシミリ：011-213-0172
電子メール：sapporo@one-all.net

<話題提供：講師>

篠原 辰二（しのはら しんじ）氏

1976 年生まれ、北海道伊達市出身。

道都大学社会福祉学部卒。学生時代は NGO 活動を通し発展途上国における支援活動を行う。

北海道内 2 つの社会福祉協議会で 14 年間勤務後、地域福祉を推進する機関への支援や福祉人材の育成を担う

一般社団法人ウェルビーデザインを設立。2015 年度より手稲区の「災害時要配慮者避難支援事業」に携わるほか、札幌市地域福祉社会計画審議会の副会長を務めている。また、2021 年度から北海道が実施する災害時派遣福祉チーム員研修の講師や、同じく北海道が 2022 年度から実施している「個別避難計画作成モデル事業」でアドバイザーを務めた。北海道の災害中間支援組織「北の国災害サポートチーム」の代表を務める。

社会福祉士、防災士。

